

## 令和6年度第1回 学校運営協議会（報告）

日時：令和6年6月1日（土）

午前10時～12時

会場：第2応接室

### 1 開会

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会説明

### 2 校内見学（南陵祭展示の部）

### 3 校内見学の感想共有

- A委員：生徒たちはとにかく元気である。決して悪いことではないので生徒たちの活力が発揮できる場であってほしい。高校生、大学生の時期は思春期の真っただ中で一番無鉄砲な時期だと思う。この無鉄砲さがない限り、若さとは言わないため、エネルギーを感じることができとても嬉しかった。校内に絵がある環境はとても羨ましく他校にはない魅力だと思う。演劇も楽しみである。私自身は音楽コースの出身なので、様々な表現方法が重要だということがよくわかる。演劇が専攻として高校に設置されることに意味がある。中等部生にとっても、演劇専攻の選択や演劇部の存在が意味のあるものになり、楽しみにしている。
- B委員：久しぶりに若者のパワーと明るさとエネルギーを感じた。南陵祭に今までにない演劇専攻の発表があり、発見があった。7、8人で演じているとは思えないほどであった。自らの声で工夫して表現していた。入学して2ヶ月の発表とは思えない。今後が楽しみである。
- A委員：芸術科の中の演劇専攻のカリキュラムを見て時間数が違うことが分かった。演じていたのは高校1年生だけなのか。
- 副校長：演劇専攻は高校1年生だけで、生徒は8人である。中等部以外の中学校から7人入学し、1人は中等部から進学している。
- A委員：演劇は音楽や美術ほど進学先があるわけではないと感じるが、演劇専攻の生徒たちの進路も気になる。
- 副校長：演劇が勉強できる短大や大学もある。総合大学への進学という選択肢もある。
- B委員：演劇を高校の時にやっていたというだけでも違う。
- A委員：演劇専攻では演劇の他にも普通の授業を受け、単位として演劇が認められる。
- 副校長：演劇専攻の専門科目の授業数は週は、1年生が11時間、2年生が16時間、3年生が18時間となっている。
- A委員：美術と音楽より専攻の授業が多く、他の教科の勉強が少し少なくなっている。

事務長 : 現在、体育館の2階は、演劇の練習場用として改修している最中である。  
次回(10月)には見ていただけると思う。県内で初めての演劇の練習場である。

A委員 : 柔道場があったと思うがどうなったか。

事務長 : 道場が練習場に改修され、柔剣道場という場はない。現在、授業で柔道を行っていない。剣道は授業として行う。

#### 4 進路状況報告(学校要覧 p. 19, 20) (高校教頭)

- ・令和5年度は76.5パーセントの生徒が大学入学共通テストを受験し、昨年度より増えた。
- ・就職3名は一般企業への就職である。
- ・令和5年度は、特進クラスを中心として、上位の生徒が非常に検討した学年であった。
- ・国公立大学の合格者38人の内訳は、1組(芸術科)から4人、2年ぶりに東京藝術大学、声楽科に1人合格した。4組(普通科特進クラス)から23人、2組と3組から11人合格した。大学別では、東北大学(工学部)、筑波大学(理工学部)、千葉大学(工学部・園芸学部)合格した。静岡大学には8名、静岡県立大学に7名合格した。
- ・中等部「表現」の授業の成果として、自分の言葉で相手に伝わるように表現することができる生徒が多く、変化する大学入試に対応できる力がついていると感じる。
- ・多面的に評価をする推薦入試を上手に活用して合格を叶えた生徒たちもいる。
- ・学年団が団結して進路指導にあたる姿勢が、結果的に進路結果につながったと考える。

#### 5 自己紹介

#### 6 会長、副会長選任

#### 7 方針、取組目標とビジョンの共有に係る協議

##### (1) 令和6年度学校経営方針、取組目標の説明(学校要覧 p. 7~9) (校長)

- ・スクール・ミッションは、各高校に期待される社会的役割等で、基本的には長期的に掲げていくものであるため、昨年度からの変更はない。
- ・目指す学校像、スクール・ポリシーも、3年から6年の中期的な目標で書かれているものであるため、昨年度からの変更はない。
- ・スクール・ポリシー具現化の柱としてアからカの6本の柱を立てた。
- ・昨年度第3回の学校運営協議会での御意見を参考にして検討し、本年度の取組計画に関する達成方法や成果目標を立てた。
- ・昨年度からの変更点は、「ア 学習」に関して、枠組みを大きく変更した。達成方法の上枠は生徒の学びについて、下枠は教員の授業改善についてまとめた。これにより、今

年度は明確に生徒に対する成果目標、教員に対する成果目標を示すことができた。教員に対する2つ目の成果目標である「外部講師による講演に対する教員の満足度」を、昨年度の80パーセントから70パーセントとした。教員の専門性や経験年数は多様であり、全員が満足する講演、講師選定は難しいため、目標値を少し下げた。

- ・「ウ 生徒の育成」について成果目標の「教員等による交通安全、街頭指導の実施」について、昨年度の年間10回から今年度は学期に1回とした。理由は、中高ともに朝学習を行っているため、実施が大変困難だという実情からである。中高別の指導は、継続して実施するが、全体としての取組は学期に1回とした。
- ・「エ 豊かな感性、表現力の育成」については、「学校生活が充実していると答える生徒の割合」を70パーセントから80パーセントに上昇させた。理由は昨年度のアンケートの結果が良かったためである。
- ・「オ 地域社会との連携」については、昨年度の「奉仕活動」を削除し「協働活動」とした。これにより、子供たちが広く地域社会の中で活動できるものを加えたということになる。「地域防災訓練の参加率」は「高校生45パーセント（高3を除く）」とした。理由は、防災訓練が12月の受験シーズンに行われ、高校3年生の参加がなかなか難しいからである。「土曜オープンスクールの参加者数」は1600人から1200人に変更した。1回の目標数を400人とし、今年度3回実施するので1200人にした。「学校公式SNS発信数」は、昨年度の途中で、ホームページでの発信からX（旧Twitter）での発信に変更した。Xで積極的に発信をする目標として年間250件と修正した。
- ・「カ 教育環境の整備と業務改善」については、「安心、安全な教育環境を維持する」を、事務部の新たな取組として記載した。これに伴い、予算執行の成果目標は、より関連性の強い具体的な成果目標とした、
- ・昨年、創立60周年を終え、人間でいう還暦を迎えた。今年61年目の新しい風が吹いていることを演劇専攻の生徒の発表で感じていただけたと思う。スクールミッションを旗印にして、生徒や教職員が元気よく、清水南らしく教育活動に取り組みたい。

## （2）方針の承認

- A委員 : 毎年言っているが、カタカナを少なくして欲しい。スクールミッション、スクールポリシーの中のグラディエーションポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー、こうした言葉が伝わらない。
- 校長 : 伝わりにくいかもしれないが、県からの指示なので変えるのは難しい。
- A委員 : 表の順序は逆にした方がよいと感じる。「このような生徒を求めている」から「このような学びを行い」、「このような力を身につけていく」と左から順番に書いてあるとわかりやすい。
- 校長 : その通りかもしれないが、県指定の形式を用いているため難しい。
- A委員 : なぜ変更できないかを聞いてほしい。我々のような立場の人間に説明する時には「こういう生徒を育てたいから、こういう授業をやり、こういう力を身

に付けたい」と説明された方が私たちはわかりやすい。  
この学校経営方針について、承認をいただきたい。

- ・令和6年度学校経営計画について承認された。

## 8 学校生活の様子

### (1) 中等部説明 (中等部教頭)

- ・中1年生は学校生活にも慣れ、授業では仲間と教科担任と関わり、元気よく会話をしたり、教師の発問に対し多くのつぶやきが出たりするなど、意欲的に表情良く取り組んでいる。人間関係も良好で、誰かが困っているときに声をかけたり、手助けしたりと、優しい気持ちを持つ生徒が多い。
- ・中2年生は大変活発である。課題に対して前向きに取り組む、文章表現では、別の学校では面倒くさがられる課題も喜んで取り組んでいると聞いている。体育では新体力テストで自らの記録を向上しようと何度も挑戦する姿が見られた。南陵祭の準備では、アイデアを出し準備する様子が見られた。
- ・中3年生は大変落ち着いて生活している。表現の授業では、大変緊張感を持って取り組んでいる。4月に行われた学校説明会では代表生徒が中等部の説明を行い、自らの経験をわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力の高さを来場者が称賛していた。日頃の授業で、自分の考えをもち、友達と関わり合う活動や本校独自で行われている表現の授業が活かされていることを感じる。

### (2) 高校の説明 (高校教頭)

- ・高校1年生は落ち着いている。勉強面、学習面では中学校よりも科目数が増え、難しくなった学習内容に戸惑う生徒も多いが、先生方の熱心な授業や1人1台端末を活用して、効果的な学習が行われている。高校1年生から「総合的な探究の時間」のカリキュラムを改善し、これまで以上に外部連携をしながら、自己を理解し、社会課題を考える計画を作り、取り組んでいる。
- ・高校2年生は1年間の経験をもとに、良い人間関係を築きながら意欲的に高校生活を過ごしている。コミュニケーション取ることが上手な生徒が多く、意見を発信する場面では、根拠も示しながら伝えようとしている。また、中等部の「表現」で身に付いた力が授業で生かされていると感じる。部活動では県大会などで活躍している生徒がいる。
- ・高校3年生は南陵祭の成功に向けて、一生懸命に取り組んできた。芸術科の生徒たちも真剣に取り組んでいる。運動部はラグビー部、女子バスケットボール部を中心に活躍した。それぞれの進路目標の実現に向けて、頑張ってもらいたい。

## 9 閉会・諸連絡

### (1) 今後の予定

- ・第2回 令和6年10月19日(土) 10時から11時30分

- ・第3回 令和7年 2月12日（水）10時から11時30分

(2)諸連絡

- ・連絡先に変更がある場合は副校長まで知らせてほしい。
- ・第2回と第3回の開催通知は、1か月前を目途にメールで発出する。